

海外派遣留学生
留学報告書
オーストラリア・ウーロンゴン大学

学部学科・研究科専攻	文学部英語文化 コミュニケーション学科		留学時学年	2年
留 学 先	国	オーストラリア	大学/機関	ウーロンゴン大学
期 間	2025年8月16日 ~ 2025年9月14日			
	短期		計1ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

・科目名（受講した科目を全てご記載ください）：英語

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
8時半～12時半 (30分休憩あり)	○	○	○	○	○	free	free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

クラスの人数は週ごとに多少変動がありましたが、平均して1クラス約10人でした。毎授業プリントが配られて、プリントを使いながら授業をしていました。私のクラスは全員日本人で、先生のみオーストラリア人でした。他のクラスもほぼ全員日本人で、他の国に人がいたとしても1～2人程度でした。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

放課後は、授業後に行われるグループディスカッションや発音クラスに参加したり、無料バス1本で行くことができるショッピングセンターやビーチに行ったりしました。体育館がフリーの日は、バレーボールやサッカーなどのスポーツをしました。休日は東海大学のメンバーでシドニーへ行きました。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

授業は学校の建物をいくつか使いました。放課後は学校内にある体育館やフードコートも利用しました。学校外ではウーロンゴンセントラルというショッピングセンターを頻繁に利用しました。ホームステイ先の近くにあったプラザというショッピングセンターもよく利用しました。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋1人で使用

様子：ホームステイでした。東海大学の1年生の女の子と同じホームステイ先でした。私がお世話になったホストファミリーは、ホストマザーとホストファザー、そしてフレンチブルドッグが一匹いました。とてもやさしかったです。留学生は私たち二人だけでした。

朝食はセルフと言われていましたが、ほぼ毎日ホストマザーが食べる時間に合わせて温かいご飯を作ってくださいました。夕食は、学校から帰宅してすぐでした（18時頃）。夕食中やその後は、お話をする時間でした。ある程度時間が経ったら、順番にお風呂に入り、寝る支度をするという流れでした。22時以降は静かにするルールだったので、その時間までには支度を終えてベッドに入っていました。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- 楽しかったこと：初めての海外だったため、オーストラリアにいる間は常に夢のなかにいるような不思議な感覚で楽しかったです。特に楽しかったことは、ホストファミリーが夜のドライブに連れて行ってくれたことです。夜のオーストラリアのビーチはとても素敵でした。また、外国人と会話をするときも楽しかったという印象があります。初めて使う英語のフレーズが相手に伝わったり、自分の話で相手が笑ってくれたりしたときに英語の楽しさをより実感しました。
- 苦労したこと：英語に触れる機会が全然なかったことです。クラスには色々な国の人がいると思っていましたが、仲良くなるためのきっかけづくりのために日本のお菓子をたくさん持っていきましたが、全員日本人だったため、全く使いませんでした。自分で行動しないと英語を話す機会がなかったため、買い物をするときにタッチパネルではなく有人レジに行ったり、近くのビーチに行き行って勇気を出して現地の人に話しかけたりしていました。また、学校から家が遠く、無料バスで学校に通える友達が多くいる中で、毎日往復千円かかりました。私費だったので苦労しました。

[7] 留学の成果について教えてください

- 1) 語学力の向上：クラスが日本の大学だけだったので、英語に触れる機会は限られていました。そのため、語学力の大きな向上は自分自身ではあまり感じられなかったです。しかし、4週間目の休日に私が駅員さんと会話していたのを近くで聞いていた友達が、「英語力ちゃんとあがっているよ」と言ってくれてとても嬉しかったです。毎日のホストファミリーとの会話や、ビーチでオーストラリア人に話しかけたことによる成果が少しだけ出たのかなと思います。
- 2) 専門知識の向上：新しく学ぶ英単語が多くありました。授業では毎日トピックが変わりました。例えば、「プリントに載っている野菜を全種類答える」や、「オーストラリアの動物を全て答える」などして、マイナーな単語も勉強しました。「will」と「be going to」など、同じ意味の言葉の使い分け方も細かく学習しました。また、オーストラリア人がよく使うオージーワードなど、実用的な表現を学び、異文化にも触れました。

- 3) 自己成長など： 以前より行動力があるようになったと思います。はじめは現地の人に話しかける勇気が出ず、何度も挑戦しましたが躊躇してしまい、なかなか思うようにいきませんでした。しかし、2週間目で初めて話しかけることができました。そこから自分に少し自信がつき、何も予定がない放課後は1人でビーチに行き、近くにいた人に話しかけて英語を話す練習をしていました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

クラスは日本人ばかりなので、はっきり言ってしまうと語学力の向上の期待はあまりしない方がいいと思います。しかし、自分が外国人になる世界は何もかもが新しく、毎日新鮮で楽しいです。日本を客観視できるので、語学力だけでなく異文化体験としても、とても良い経験になると思います。私の留学経験が、留学先に悩んでいたり留学をしようか考えていたりする方々の参考になれば嬉しいです。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

内訳			金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	75万円
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	
3	中期・長期留学者のみ	滞在費(寮費など)	
4	教材費		
5	保険代		
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)		約7万円
7	個人的な買い物		約3万円
8	その他(ホストファミリーへのプレゼント)		約3千円
9	留学に関する費用(1から8の合計)		約85万円
10	受給した奨学金(奨学金名:)		
11	留学に関する費用総額(上記9から10を引いた額)		約85万円

